

くにみ 議会だより

No.158
9月議会号



ぼくらの元気をわけてあげる

藤田保育所が緑風園を訪問し、元気な笑顔が広がりました

9月定例会

除染事業が大幅増加

平成24年度決算 ————— P2

住宅や森林除染を追加など平成25年度補正予算 — P7

一般質問（自然災害対策など9人の議員が登壇） — P10

議会アンケートの結果報告 ————— P20

廃校活用セミナーなど常任委員会調査報告 — P22

発行●福島県国見町議会 編集●議会広報編集委員会 発行日●平成25年10月31日

〒969-1792 福島県伊達郡国見町藤田字観月台15 観月台文化センター内 TEL.024(585)3295 FAX.024(585)2181 <http://www.town.kunimi.fukushima.jp/>

特別会計を含む歳出総額90億8977万円

今後の財源確保に課題

除染事業が 大幅増加

9月議会定例会は9月10日から19日まで10日間の会期で開かれました。

今定例会には平成24年度決算認定や条例の改正、平成25年度補正予算、人事案件など36議案が提出され、すべて原案どおり認定可決、同意、決定しました。

一般質問では9名の議員が登壇し、14項目にわたって町政をただしました。

一般会計

平成24年度一般会計決算額は、歳入総額が68億658万円(前年比1・3%減)、歳出総額が61億2415万円(前年比0・6%減)となり、翌年度に繰り越す事業の財源を差し引いた実質収支額は5億3895万円(前年比10・2%減)の黒字決算となりました。

この主な要因は、退職による人件費減や町単独事業の減少が挙げられます。

かし震災後2年が経過し、特別交付税や震災復興特別交付税が減少しているため、今後は定住化や税収確保に取り組まなければ財政状況が厳しくなります。

歳入

自主財源の中心となる町税は前年比4758万円減となり、依存財源である地方交付税も震災関連交付税の減少により前年比3億6366万円減となりました。

歳入 68億658万円

使用料・手数料
1億1451万円 1.7%

町営住宅の使用料や戸籍事務の手数料など

繰入金・繰越金
8億3193万円 12.2%

貯金を下ろして使うもの、前年度からの繰越金

町税
8億6882万円 12.7%

町民税、固定資産税、町たばこ税など

その他の依存財源
1億6847万円 2.5%

地方譲与税、地方消費税交付金など

町債(借金)
4億5472万円 6.7%

銀行などからの借入金

その他の自主財源
9365万円 1.4%

給食費や町税の延滞金など

地方交付税
24億7589万円 36.4%

町の収入でまかないきれない分を国が交付、再配分するもの

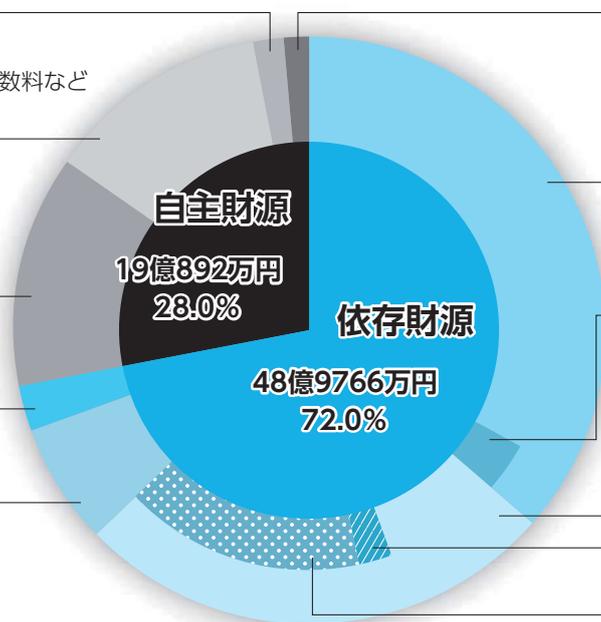
(うち震災復旧分)
2億1597万円 3.2%

国県支出金
17億9858万円 26.4%

国や県からの補助金

(うち震災復旧分)
1億4869万円 2.2%

(うち除染対策分)
10億8986万円 16.0%



一般会計歳出61億2415万円

黒字決算も



議会で汚染廃棄物の仮置き場の整備状況を調査(大枝地区)

■ 平成24年度特別会計決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額
山長育英財産管理	64万円	64万円
給食センター	9095万円	9095万円
公共下水道事業	4億6347万円	4億5058万円
後期高齢者医療	1億493万円	1億417万円
国民健康保険	13億5988万円	12億7179万円
介護保険	9億7892万円	9億4908万円
土地開発事業	9359万円	9058万円
湯水対策施設	798万円	780万円
大木戸財産区	17万円	13万円
入山財産区	21万円	15万円

■ 平成24年度水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億3270万円	2億868万円
資本的収支	4917万円	6956万円

資本的収支の不足分は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

歳出
 義務的経費(人件費などは前年比8795万円減、投資的経費(災害復旧費などは7億7004万円減、その他の経費(積立金など)は1726万円増となりました。そのうち除染など原発災害対策関連費用は11億8653万円と大幅に増しました。

歳
出

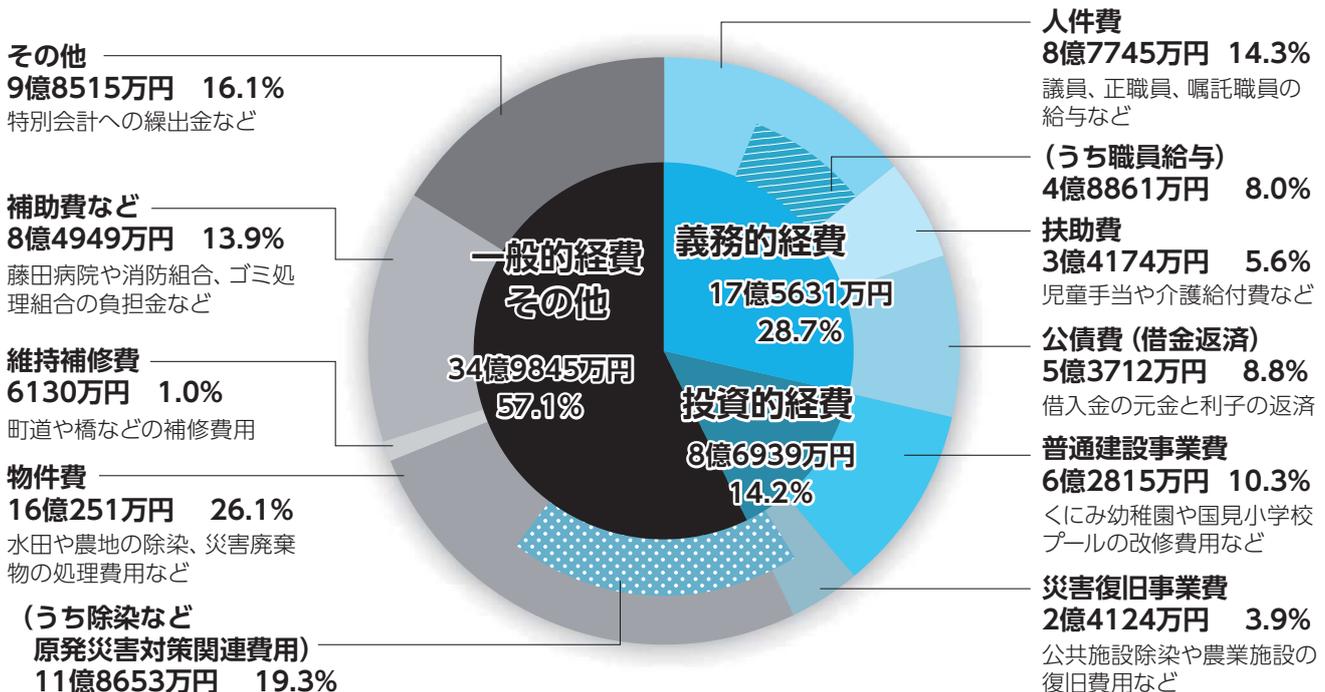
■ 町債(借金)年度末現在高

会計名	平成24年度	平成23年度
一般会計	51億875万円	51億3929万円
下水道	18億1483万円	18億3662万円
合計	69億2358万円	69億7591万円

■ 主な基金(貯金)の年度末現在高

基金	平成24年度	平成23年度
財政調整基金	9億6332万円	8億422万円
東日本大震災復興(支援)交付金基金	2億6422万円	2億6402万円
ふれあい福祉基金	1億5197万円	1億5197万円

歳出 61億2415万円



平成24年度に実施した主な事業

原発災害 対策事業



公共施設の除染や水田に放射性物質吸収抑制材散布、果樹木洗浄、ガラスパッチ健康調査などを実施しました。

9億2966万円

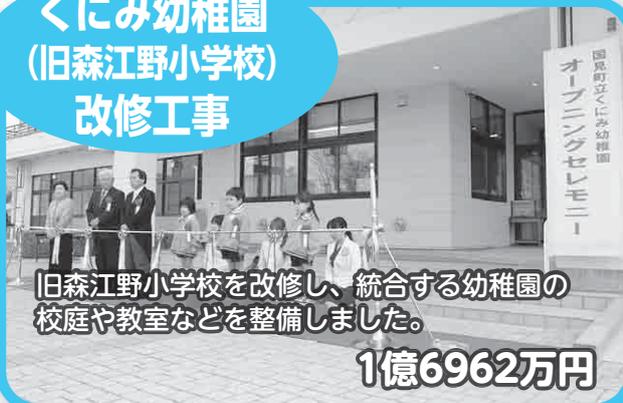
下水道の 災害復旧工事



震災により破損した下水道を修理しました。

2億142万円

くにみ幼稚園 (旧森江野小学校) 改修工事



旧森江野小学校を改修し、統合する幼稚園の校庭や教室などを整備しました。

1億6962万円

国見小学校 プールの 改修工事



老朽化したプールを新しくしました。

7066万円

くにみももたん FM放送 (緊急雇用 創出基金事業)



毎週金曜午前10時から町の情報を発信しています。

2058万円

国見小学校 スクールバス 送迎



24年4月に統合した国見小学校まで各地区からバスで送迎しています。

1986万円

まちづくり 推進事業 (義経まつり、 ビッグツリーなど)



義経まつりや阿津賀志山ビッグツリーなどを行いました。

660万円

特別養護老人 ホーム国見の里 への支援



国見の里の開所に向け、町道新設や土地提供などの支援を行いました。

5747万円

平成24年度 決算認定

平成24年度決算の認定は議会最終日に行われ、全議案が原案どおり全員賛成(※山長育英財産管理特別会計は賛成多数)で認定されました。

質疑

(一部抜粋・要約)

一般会計歳入

(村上晴夫議員)

約2億3000万円
円が黒字で町財政の健全度

を見る数値も改善され問題ないとの報告だが、今後の課題は。

町長

地方交付税や復興関係特別交付税は今後減る見込み。また役場庁舎建設や交流の場の設置などハード事業でかなりの負担増が見込まれるため、長期見直しを持って対応する。

問

(松浦常雄議員)

町税滞納分の解消

対策は。

税務課長

分割納入や預金の差し押え、公売での財産処分などに対応。県税と連携した徴収も実施。25年度は専門家に依頼し、滞納者の生活再建や過払い分の返還相談を進める。

一般会計歳出

(村上晴夫議員)

836万円を補助しているが、利用状況と今後の見込

みは。

企画情報課長

利用者は年間約1万7600

人、1日約72人。少しずつ増えていて、その7〜8割が満足との回答。安定的な運営へ支援を続けたい。

問

(村上晴夫議員)

藤田病院の赤字を

補う特別負担金は国見町、桑折町、伊達市の3市町で分担し、国見町は6500万円を負担している。前町長は国見町の負担割合を減らすことを検討していたが結果の報告がなかった。現

町長

在の状況は。

病院経営や医師不足解消の課題が優先

であり、町の負担割合を減らすことではなく、病院をどう維持発展させるかを3市町で協力して対応したい。

問

(渡辺勝弘議員)

不法投棄ごみ対策

事業の成果と対策は。また罰金制度や罰則条例の考えは。

住民生活課長

24年度はタイヤ、家電など1350kgを回収。不法投棄防止の看板を設置した。

町長

廃棄物処理法に告発制度があり、悪質な場合は県や警察と連携し、対応を検討する。

問

(村上正勝議員)

果樹共済事業は自然災害などから農家を守るため重要であり、町で積極的に助成すべきでは。

(6Pに続く)

決算審査報告

代表監査委員 佐藤 徳正



各会計の決算書が関係法令に準拠しているか、財政運営が適正かを主眼として審査しました。

その結果、各会計とも黒字であり、計画的な財政執行による収支の均衡と健全な財政運営が行われていました。

また、健全化判断比率、資金不足比率審査は、その算定と基礎となる書類が適正に作成されているかを主眼として実施しました。

その結果、いずれも適正に行われていました。

健全化判断比率は、実質公債費比率、将来負担比率とも前年より下がり、早期健全化基準を下回っているため、良好です。

公営企業の経営状況は、水道事業会計、下水道事業特別会計、土地開発事業特別会計のいずれも資金不足はありません。(抜粋)

健全化判断比率 (%)

区分	24年度 (23年度)	早期健全化基準
実質赤字比率※1	赤字なし (//)	15.00
連結実質赤字比率※2	赤字なし (//)	20.00
実質公債費比率※3	11.1 (12.9)	25.00
将来負担比率※4	78.3 (85.2)	350.00

- ※1 一般会計と公営事業を除く特別会計の赤字の割合
- ※2 公営事業を含む全会計の赤字額の合計の割合
- ※3 収入に対する負債返済の割合
- ※4 将来支払う見込みの負債割合

産業振興課

24年度はせん孔細菌病の被害が大きかったため、補助対象を新規加入者のみから加入者全員に拡大した。

年度は指導主事を配置し、新しい教育計画など基礎づくりのため教育委員会に頑張ってもらおう。

問

(浅野富男議員)

老朽化した橋梁などの調査や対応は。

建設課

町管理箇所を全部調査したが、緊急で工事が必要な危険箇所はなかった。老朽化が進んだ所は、国の補助金など財源を確保し、修理を検討する。

問

(阿部泰藏議員)

町道の舗装改良工事年次計画はあるのか。

建設課

計画はないが、幹線道路や通学路などを優先的に実施する。

問

(村上晴夫議員)

小学校統合から1年半になるが、現時点での評価は。

副町長

施設も十分に整備し、保護者からも好評。今後は教育内容の充実が重要となる。25

問

(浅野富男議員)

小学校統合で各区の青少年健全育成活動ができなくなっている。今後をどう考えるのか。

町長

まず各地区で地域の活動をどうするか考える必要がある。その中で青少年健全育成を議論してもらい、町全体での取り組みをまとめたい。

問

(東海林一樹議員)

観月台文化センター1復旧に基金5000万円を積み立てたが、費用の見込みは。

生涯学習課

復旧費用は調査できていない。ホールの老朽化対策を含め、調査したい。

問

(志村良男議員)

義経の腰掛松が枯れているがその対応は。町指定の天然記念物であり、

その幹を保存すべきでは。

生涯学習課

専門家が調査したが、かなり弱っている状況。保存については文化財保護審議会に意見を求め検討する。

山長育英財産管理特別会計

(阿部泰藏議員)

山林の寄付を受け51年が経過したが、収益はなく、育英奨学の目的に使われていない。山林としての価値は。育英に使うのは不可能では。

教育長

木材価格の低下で収益が出ていない。今後の対応は管理委員会で十分検討したい。

反対討論

(阿部泰藏議員)

50年以上、設置目的を果たしていないため決算を認定できない。(賛成10人、反対1人で認定)

国民健康保険特別会計

(浅野富男議員)

健康診断で再検査が必要な人の受診状況は。

保健福祉課

検査結果を把握し、再検査の案内を行い、緊急時は電話で連絡している。必ず受診するよう対応を考えたい。

介護保険特別会計

(阿部泰藏議員)

特別養護老人ホームの入所基準の厳格化が報道されたが、入所が制限される日常生活で何らかの介助が必要な人は何人いるのか。

保健福祉課

制限は国で検討中であり、決定ではない。制限対象となる入所者は13人。

土地開発事業特別会計

(阿部泰藏議員)

小坂緑住区内に特別養護老人ホーム国見の里を

設置したが、残地の利用計画は。

企画情報課

残地は2万4000平方メートル。当初は住宅団地を予定していたが今後検討する。

湧水対策施設特別会計

(阿部泰藏議員)

5億円の基金で事業を開始したが、運用利益が少なく元金の取り崩しも想定される。その対策は。

上下水道課

年間の経費は約500万円、元金を取り崩しても長期的な施設管理は可能。

※山長育英財産

昭和37年に故山田長一氏から町出身者の育英、奨学を目的に寄付された宮城県白石市越河地内の山林7・9畝からの収益を教育に役立てるため設置。管理条例で「財産の管理、運営は寄附者の精神を充分尊重すること」と規定。

平成25年度 補正予算

住宅や隣接する森林除染を加速

森林除染に3億2800万円追加

平成25年度の補正予算は、一般会計(第3号)や公共下水道事業会計(第2号)など6件が提出され、予算総額102億4594万円を全員賛成で可決しました。

そのうち一般会計では、国見小学校の遊具整備や外壁改修費7410万円、街なかライトアップ事業980万円、森林除染や仮置き場整備の原発対策に7億8200万円など合計13億10万円を増額しました。その財源は国県補助金や基金(貯金)を取り崩して賄います。

質疑

一般会計補正予算

職員給与を減額するのか

問

(村上晴夫議員)

地方交付税に関連

し、国が地方公務員の給与減額を押しつけてきたが、県内の市町村でも対応が分かれていて。今回の補正予算を見ても復興、除染などで業務量が増大している。その中で給与減額をすれば職員の士気低下で町政の停滞が懸念される。町長の考えは。

町長

被災3県の給与削減は望ましくない。職員の業務量も過多になっている。関係市町村や県、国の動向もあるが、職員の士気高揚、町全体を盛り上げるためにも現状維持で対応したい。

住宅除染の進み具合は

(浅野富男議員)

住宅除染は25年度

で1042戸の実施予定だが、その進み具合は。

原発災害対策課長

業者に委託して順次実施している。予定どおり3月までに除染を進めたい。

※10月20日現在の実施戸数は107戸です。

森林除染の追加理由は

問

(佐藤定男議員)

森林除染3億2800万円の追加理由は。

原発災害対策課長

現在、住宅除染地域は森林に隣接している。除染の効果を上げるための対応である。

新事業の街なかライトアップとは

問

(渡辺勝弘議員)

街なかライトアップは昨年までの事業とどこが違うのか。

産業振興課長

新たにイベントを開催し、ビッグツリーなどの相乗効果で盛り上げる。町民参加で、地区ごとにイルミネーションで飾り付け、元気アップに

つなげる。

内谷地区と光明寺地区で森林整備を実施

問

(松浦常雄議員)

森林整備加速化林業再生基金事業の内容は。

産業振興課長

内谷地区の松と光明寺地区の広葉樹林再生事業を実施。

小学校にアスレチックなど複合遊具を設置

問

(佐藤定男議員)

国見小学校遊具整備費2100万円の内容は。

学校教育課長

小学校の遊具を全て撤去し、新しいものに取り替える。アスレチック複合遊具を設置し、子どもたちの体力づくりに役立つ。

てたい。

公共下水道事業補正予算

国見ニュータウンなどの復旧工事を進める

問

(松浦常雄議員)

災害復旧工事9100万円の内容は。

上下水道課長

震災後の余震害が発生した国見ニュータウンなどの下水管1137口の復旧工事である。



下水道の被災状況を調査(国見ニュータウン内)

条例その他

庁舎建設工事契約を決定

3社の共同企業体 が建設

(要旨) 役場庁舎建設工事を株式会社安藤・問東北支店(宮城県仙台市)と20億3490万円で契約します。なお、工事は地元企業の安藤組(福島市)、佐久間工業(国見町森山)の3社共同で行い、平成27年2月に完成予定です。

(全員賛成で可決)



庁舎建設安全祈願祭の様子

質疑

落札率が高すぎるのでは

問

(村上正勝議員)
競争入札で落札率が99・38%というのは高すぎるのではないかと。

総務課長

6社を指名し、入札した結果、予定価格に達した業者は1社のみ。要因は人件費、資材単価の高騰のため。

町の地元業者も 建設に入るのか

問

(阿部泰蔵議員)
共同企業体となる株式会社安藤・問と地元業者の工事請負割合は。

総務課長

元請けとなる安藤・問東北支店が

55%、福島市の安藤組が30%、地元国見町の佐久間工業が15%の割合。

問

(阿部泰蔵議員)
共同企業体の地元業者はいつ決定したのか。

総務課長

落札決定後、元請け業者が共同企業体を組んだもの。

選挙

※国見町・桑折町有北山組合議会議員選挙

任期満了に伴う国見町・桑折町有北山組合議会議員選挙(各地区から推薦された候補者を議会で決定)が行われ、国見町から以下のおり当選しました。

- 第1選挙区(小坂) 安藤 信晴氏
- 第2選挙区(泉田) 佐藤 精市氏
- 第3選挙区(鳥取) 遠藤 一夫氏
- 第4選挙区(内谷) 赤坂 晃氏

第5選挙区(藤田) 秦 富夫氏

第6選挙区(山崎) 八島 富一氏

第7選挙区(塚野目) 高橋 佐七氏

※国見町・桑折町有北山組合国見町、桑折町の一部の地区が白石市小原地内の山林約520畝を所有し、管理するための一部事務組合。国見町、桑折町からの議員12人で議会を構成。

人事

新教育委員長に 高橋幸子氏

遊佐眞紀子前教育委員の任期満了により、教育委員に高橋幸子氏(藤田)の選任に同意しました。また、同じく任期満了となる石川博利氏(森山)の再任に同意しました。

なお、10月の教育委員会で高橋幸子教育委員が教育委員長に選ばれました。



石川博利氏



高橋幸子氏

退任された遊佐眞紀子前教育委員長は、平成13年から3期12年にわたり学力向上や小学校、幼稚園の統合などに尽力されました。



退任された遊佐眞紀子氏

人権擁護委員に 遠藤一夫氏を推薦

任期満了に伴う人権擁護委員候補者に、遠藤一夫氏(鳥取)を適任と認め推薦することを決定しました。

9月定例会 町長の行政報告（抜粋）

■ 東日本大震災の早急な復旧・復興

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、3月末までに希望者全員が終了予定。これまで健康に影響のある数値は出ていません。

女性100人国見町応援団の参加者を「国見女性サポーター」に認定し、三屋裕子さんに同サポーター会長をお願いしました。

あんぼ柿の復興プロジェクトは、県の幼果期検査結果が出た時点で、生産農家へ説明し、検査計画を作ります。

■ 安全安心なまちづくり

東日本大震災対応への意見約550件を集約し、検証委員会で協議します。

■ 活力あるまちづくり

「道の駅を核にした交流の場」は検討委員会で9月末までに必要事項を取りまとめる予定です。

「都市計画マスタープランの作成」は、町民アンケートを

実施し、集計結果を次期マスタープランへ反映させます。

「旧小学校校舎活用計画策定委員会」は、地域の方の意見も含め、11月末までに方向性をまとめる予定です。

■ 思いやりのあるまちづくり

8月1日に国見町社会福祉協議会が新事務所で業務を開始し、9月1日に特別養護老人ホーム「国見の里」が開所しました。（10月9日、災害時に高齢者や障がい者を支援する福祉避難所協定をそれぞれ締結しました。）

9月5日に屋内遊び場「くにみもたん広場」の本格利用を開始しました。

■ 町の維持発展と町民皆様との連携

個人町県民税の収納率が7期連続で管内トップとなり知事感謝状を受けました。引き続き収納率の向上を図ります。

「保・幼・小・中連携」の一貫教育と「地域の力を学校運営に生かすこと」を柱に『国見の教育ビジョン』を検討委員会で策定します。

意見書

9月定例会では意見書3件を可決し、国など関係機関へ送付しました。

10度目の意見書提出

放射性物質を含む下水汚泥の場外搬出を求める意見書

平成23年8月以降、9度にわたり意見書を可決し、国県関係機関に提出したが、何の解決方法も見えないため、国と東京電力の責任により一刻も早い下水汚泥搬出の対策を再度求める。

可決

道州制導入に断固反対する意見書

道州制導入は、住民と行政との距離を遠ざけ、住民自治を衰退させることは明白である。我々町村議会が要請した絶対に道州制を導入しないことを無視した、道州制導入ありきの法案提出に対し、断固反対する。

可決

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

温室効果ガスの吸収源としての森林の整備・保全等の安定的な財源確保のため、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与することを求める。

可決

みなさんからの 請願・陳情

9月定例会では陳情1件を委員会で審査し、採択となりました。

陳情	提出者	審査委員会	結果
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳 (新潟県村上市議会議員)	産業厚生	採択

～9人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

9月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、町の政治姿勢を明らかにするものです。

議員	質問事項	ページ
松浦 常雄	多発する自然災害にきめ細かな対応を	11
	児童生徒の体力低下が心配だが	
佐藤 定男	「いじめ」根絶に何が重要か	12
浅野 富男	個人による原発損害賠償請求に町の支援を	13
渡辺 勝弘	桃のトップセールスの成果は	14
阿部 泰藏	臨時・嘱託職員の待遇改善を	15
村上 晴夫	農業と連携した観光事業で町の活性化を	16
	第5次国見町振興計画の進捗状況は	
東海林 一樹	女性100人応援団は継続すべきだ	17
	道の駅の進捗状況は	
井砂 善榮	国見は桃生産、全国一の町だが	18
	あんぼ柿再開時の新たな費用負担は	
	岩淵遺跡の屋根の傷みがひどいが	
渋谷 福重	自主防災会独自の取り組みに支援を	19

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

Q 多発する自然災害にきめ細かな対応を

A 地域防災計画を見直す

問 今年度の町の総合防災訓練のねらいと概要は。

町長 東日本大震災程度地震を想定した効果的な訓練を行う。そのため避難訓練・避難所開設・初期消火・救出・救助訓練・情報収集伝達訓練など数多くの訓練を実施する。

問 東日本大震災の体験から特に食糧・水・燃料などの確保が重要である。備蓄の現状は。

課長 アルファ0食、乾パン3100食、保存水500ml換算で4700本を備蓄している。ガソリンなどの燃料は、備蓄が困難

なため町内ガソリンスタンドとの連携により確保したい。

問 備蓄には限りがある。各家庭での備蓄が重要では。

課長 町が配布した防災マップで1人1日3ℓの水を最低3日間分と非常食3日分を含む7日分程度の食糧の備蓄を呼びかけている。

問 全国各地で豪雨による土石流等が発生している。町内にも危険箇所がある。防災マップの配布だけでなく町内会長や自主防災会長に具体的な説明をすべきでないか。

課長 今後、地域防災計画の変更に伴い防災マップの改定がある。その際、是非とも説明会を開催し周知を図っていく。

問 「県内の児童生徒の体力低下が顕著」と報道された。町内の児童生徒はどうか。

教育長 体育の授業の充実や屋内外で遊べる環境

問 体育の授業以外の様々な学校生活で体力向上を図ることが必要ではないか。

次長 休み時間やマラソン大会など体育行事の工夫改善を図っていく。

問 体力向上には保護者との連携も欠かせない。どう連携を図っていくのか。

次長 早寝早起き、朝ご飯、手洗い・うがいなど望ましい生活習慣づくりを家庭とより一層連携し確立していく。



松浦常雄議員

課長 東日本大震災検証委員

問 大震災では発電機がなく困った。このような経験はどう生かすのか。

問 各家庭の防災無線で電池がないなどで受信できないものが多いと聞く。自主防災会を活用して点検をしようか。



元気に走って体力向上(国見小運動会)

Q 「いじめ」根絶に何が重要か

A 子供同士のいい人間関係づくりである



佐藤定男議員

に「いじめ」という認識で解決していく。

問 「いじめ」根絶には、なにが一番重要か。

教育長 道徳教育はもろん

のこと、各教科や部活動の中で、本当に豊かな人間性が育まれる指導と子供同士が良好な人間関係が築かれる教育活動を地道にしっかりと行っていくことである。

問 「いじめ」なのか判断が難しい事例は、どう対応しているのか。

教育長 日ごろから学校訪問や「いじめ」の実態調査を通して把握に努めている。また、保護者等から「いじめ」の訴えがあった場合には、当該

教育長 教職員と被害者の立場に立った受け取り方をして、早期

問 国は平成24年度の小中学校で

の体罰件数を調査した。町内での調査結果は。

教育長 本町では体罰はない。

問 体罰を受けたとの申し出があった場合の対応は。

教育長 町教育委員会では体罰に関する取り組み方針を定めて教職員の意識改革に努めている。また、校内服務倫理委員会を定期的に開催し、全教職員の共通理解のもとで学校全体の組織的連携を図るよう学校長に周知している。

問 「校内服務倫理委員会」とは何か。

教育長 教職員の体罰やセクハラなどの不適切な行為について、協議をして

問 漫画「はだしのゲン」の閲覧は

未然防止を図る組織である。

問 漫画「はだしのゲン」の閲覧は

昨年12月松江市教育委員会が漫画「はだしのゲン」を小中生に貸し出さない、としたことに様々な意見、批判が出ている。小中学校でこの漫画の閲覧に何らかの制限をしているか。

問 インターネット「依存症」の対応は

教育次長 小中学校とも閲覧の制限はしていない。

問 インターネット「依存症」の対応は

インターネット「依存症」は睡眠障害や不登校、「ひきこもり」の原因のひとつ。ネットを使う最初の段階での心構えが最も重要である。学校での対応は。

教育長

インターネットに関しては様々な問題がある。情報機器に対する正しい知識や様々なトラブル事例からモラルの必要性について考えさせる指導をしている。



みんな仲良しい関係(国見小学校)

Q 個人による原発損害賠償請求に町の支援を

A 相談体制を検討する

問

原発事故による被害は県内外

る。本町はどうなっているのか。

広い範囲に、精神的・経済的損害までと社会生活全般に及んでいる。

町長

事故発生から平成25年3月

までの分として約9300万円を既に東京電力に請求した。今後とも原発事故によるものは、しっかりと請求していく。

問

裁判によらない解決方法として、原子力損害賠償紛争解決センターへの申し立てを行うのか。

事故発生から平成25年3月までの分として約9300万円を既に東京電力に請求した。今後とも原発事故によるものは、しっかりと請求していく。

原発災害対策課長

町で請求した損害賠償に

町で請求した損害賠償に、対応や※原子力損害賠償紛争審査会が示した損害の範囲の判定などに関する中間指針の追加、見直し、また、近隣自治体の動向などを踏まえながら、今後検討していく。

問

各個人の経済的損害賠償に対する町の支援は。

町で請求した損害賠償に、対応や※原子力損害賠償紛争審査会が示した損害の範囲の判定などに関する中間指針の追加、見直し、また、近隣自治体の動向などを踏まえながら、今後検討していく。



今年も始まった米の全量全袋検査(国見営農センター内)

町長

個別の損害賠償請求について

は個人対東京電力という関係になる。町全体での取り組みについては、これから十分検討する必要がある。また、個人の相談窓口についても検討していく考えである。

問

精神的被害に対する損害賠償についての考え方は。

精神的被害が解消される時期

町長

精神的被害が解消される時期

は、町を含め県全体が事故以前の正常な日常生活に戻り、原発事故が収束したと判断できる時点である。その時までは引き続き精神的損害賠償の対象となるよう、福島県及び県内市町村

※原子力損害賠償紛争審査会
審査会は、法律・医療・原子力工学等の専門家で構成し、紛争に関する和解の仲介、及び原子力損害の範囲の判定などに関する事務を行う。



10月15日、環境省が県北浄化センター汚泥の対応を説明(役場仮庁舎)



浅野富男議員

Q 桃のトップセールスの成果は

A 風評被害は払しょくしよつつある



渡辺勝弘議員

問 町長は東京、北海道で桃のトップセールスを行ったが、その成果は。

のトップセールスを積極的に実施していく。

町長 国見の桃の評価の高さ、そして、風評被害が払しょくしよつつあることを実感した。今後とも、首都圏をはじめとする関係者等と直に意見交換をするなど、町として

問 あんぽ柿や新米についてもトップセールスを行うのか。

町長 市場関係者からはあんぽ柿が市場に出荷されること

によって福島県国見町の果物全体に対する風

評被害が払しょくするといわれた。11月には新米、1月にはあんぽ柿のトップセールスを行う。

問 トップセールスを今後も実施するのであれば、どこ

産業振興課長 国見のブランドとして販売していく仕組みも「活力あるまちづくり検討委員会」で議論をしている。委員会の意見を十分に踏まえながら対処していく。

問 人と人との交流から生まれた

た強固な信頼関係から物の交流が始まると思う。まずは人の交流が必要ではないか。

産業振興課長 これまで大分県国東市(旧国見町)との農産物の相互販売交流を実施している。本年は、山形県朝日町・東京都羽村市・北海道ニセコ町・岐阜県池田町、そして宮城県白石市を訪

値販売ができる国見ブランドを確立すべきだ。その方策を考えているか。



商店街は大賑わい(女性100人応援団)



国見産桃の販売で交流(岐阜県池田町)

問し、人と物の相互交流を前提にした協議を開始した。

問 首都圏から招いた女性100人

人国見町応援団に対するトップセールスの手応えは。

皆さんの反応として、桃については、98人がすごくおいしかった、91人が国見から桃をまた購入したいとの意向であった。61人からは商店街でまた買いたいという声があった。十分検証をして今後につなげていく。

町長 国見の良さを大いにPRした。

Q 臨時・嘱託職員の待遇改善を

A 一定の水準を確保している

問

自立の町づくりにともなう職員の削減は。

108人である。

問

来年度の職員採用とその採用基準を聞く。

総務課長

正規職員を107人から100人にする目標を掲げ、平成22年に達成した。しかし、翌年の東日本大震災と原発事故の対応のため、他自治体からの派遣職員などを含めた職員数は現在

総務課長

退職・新規採用者数を考慮し中期的には増員となるが、10年後には101人とする考え方をもっている。来年度は退職者及び全体の業務量を

みながら採用者を決定していく。

問

本年度の予算は100億円以上だ。職員に過重な勤務にならないか。

町長

予算の半分以上が除染事業やまちづくり、役場庁舎建設事業で占めている。このため他自治体からの派遣職員や除染推進員などの嘱託職員を採用した。今後とも、業務量が過剰にならないように、職員の適正配置に十分配慮していく。

問

全職員のうち臨時・嘱託職員の割合は。

総務課長

現在、臨時・嘱託職員数は107人で全職員215人の約半分を占めている。臨時職員などの増加は、除染対策・まちづくり交流事業・もたくり広場の運営など短期的な事業や短時間勤務のため、正規職員を配置できないことによる。

問

保育所の臨時・嘱託職員の割合は。

教育長

現在、正規職員5人、嘱託職員14人の計19人で7時から19時まで交代で正規職員と同じく勤務している。

問

臨時・嘱託職員は副業やアルバイトはできるのか。

総務課長

改めて応募し採用されれば再度、勤務も可能である。

総務課長

嘱託職員はできるが、臨時職員はできない。

問

臨時職員などは補助的な仕事ではなく、行政の一端を担う責任と資質が求められる。町民が求める職員とするための研修は。

町長

良質な行政サービスを提供するため対応する職員の資質向上が必要である。臨時・嘱託職員も接遇研修などを受講させている。

問

臨時職員などの待遇改善が必要ではないか。

町長

賃金や休暇などの労働条件は近隣市町と比較しても一定の水準を確保している。



阿部泰藏議員

問

嘱託職員の雇用期間は最



ちゃんと見ててね(藤田保育所)

Q 農業と連携した観光事業で町の活性化を

A 非常に重要な課題である



村上晴夫議員

の状況を見極めながら整備事業の可否を判断することになっている。

問 「天尊寺蓮」に対する町の関わり方と支援策は。

町長 大震災と原発事故により急遽発生した復興計画と除染計画の執行が、喫緊の重要課題となりました。また、同時に私の公約である「復興・絆」

企画情報 左の表のとおりである。

「天尊寺蓮」という資源を観光に生かしていく。今後、議会をはじめ、関係者の皆様と十分協議をしながら進めていく。

問 森山地区にある「桜の森」を今後、どう整備していくのか。

産業振興課長 「桜の森」の整備は、平成24年3月に町森林委員会から答申された「桜の森整備構想」に基づき、年次ごとに整備を進めることにしています。しかし、森林除染によって発生した大量の放射性汚染廃棄物の林外搬出と空間線量率

第5次全国見町振興計画の進捗状況は

問 22年度に策定した第5次全国見町振興計画では行政評価の指標を有効に活用とある。また、その策定には多くの労力と経費が費やされている。2年経過したが計画の中間総括とその成果を聞く。

問 具体的施策のうち5施策の成果指

項目	22年度実績	23年度実績	24年度実績	27年度目標数値*1	
耕作放棄地面積；ha	60.1	71.6	55.8	30.0	
町民一人あたり年間ごみ排出量；kg	228.0	424.2	234.0	228.0	
汚水処理普及率；%	61.0	62.0	63.9	65.2	
行政が関与した来町者数；人	20,000	23,000	25,000	815,400*2	
標準学力検査の正答率(標準偏差)	小学校	53.4	53.8	53.0	53.0
	中学校	52.9	52.8	53.0	53.0

*1 第5次振興計画より転記。
*2 道の駅への来町者を見込んだもの

問 本町の基幹産業である農業と連携した観光事業は町産業経済活性化にとって重要である。町長の考えは。

しながら対応していく。平成20年3月に「国見町阿津賀志山整備構想」について議会に説明があった。その後どうなっているのか。

町長 町の基幹産業である農業を活用した観光はどうあるべきか、非常に重要な課題である。十分考慮

町長 この構想を基本として阿津賀志山と防塁そして「中

Q 女性100人応援団は継続すべきだ

A 検証し次回につなげていく

問

東京から女性100人の応援団が来町した。揃いのTシャツを着た彼女たちで一時は商店街もだいぶ賑わい、大変よかったと思う。そこで今回の事業について聞く。まず、応援団100人はどんな方法で募集したのか。

産業振興課長

委託業者にはモニター経験のある方ということで依頼をした。

問

この事業はいくらで委託したのか。

産業振興課長

840万円です。円で委託したのですが、そのうち歓迎会の食材として150万円

問

彼女たち100人が商店街で買い物をするための商品券は、この委託費に入っているのか。

産業振興課長

それぞれ1人3000円の商品券を自分で購入した。

問

この事業の中心を各商店が理解をしていけば事前に仕入れるなど準備をし、売り上げが伸びたのではないかと。役場と商店街との意思疎通が不足していたのではないかと。

産業振興課長

事業説明会を開催したが商店の参加が少なかった。また、商



国見のおいしい食材を堪能(国見de交流会)

産業振興課長

アンケートを実施したと聞くが、結果を公表してほしい。

問

費用対効果をしっかり検証しなければならぬ。ア

問

反省すべき点をしっかり検証し、今後ともこの事業

町長

アンケートの結果を十分に分析・検証し次回につなげていく。

道の駅の進捗状況は

問

町長は道の駅を町民交流の場として考えている、と表明してから半年ほど経過した。現在の進捗状況を聞く。

町長

現在、活力あるまちづくり検討委員会の中で具体的な協議を綿密に行っている。10月には大体的な概要がまとまる予定である。庁内で整理をし、議会にお示しをする。また、国県に向いて改めて要請等を鋭意行っていく。



東海林一樹議員

Q 国見は桃生産、全国一の町だが

A 国見ブランドを作り上げる



井砂善榮議員

問 国見町は町単位では全国一の桃生産量を誇る。今後、町としての宣伝販売対策は。

また、農業者の参加も重要である。関係機関と連携し来年度に向けた枠組みづくりをしていく。

桃のジャムに最適品種である「天津」の苗木が町内にある。町の特産品として苗木育成をしては。

おいしくなければ消費者は見向きもしないと実感した。このことを農家はしっかりと認識する必要がある。道の駅を核とした交流の場で農産物を販売するには、高付加価値の農産物「国見ブランド」の創設が重要。現在、仕組みづくりを活力あるまちづくり検討委員会で協議している。研究会などについてはその中で判断したい。

あなぼ柿再開時の新たな費用負担は

加工再開のため、柿干の新たな費用負担は

問 加工再開のため、柿干の新たな費用負担は

昨年「天津」で試作をしたが評判が良かった。ただ専門家によれば大半の品種が加工に適しているとのこと。しかし、貴重な苗木である「紅国見」とともに国見をPRするため検討したい。

場の除染や資材の補給などに対する新たな費用負担は。

産業振興課長 現在、県が東京電力と協議している。決定されればすぐに、生産農家へ説明をする。

岩淵遺跡の屋根の傷みがひどいが

岩淵遺跡は極めて貴重であり、その景観は非常にすばらしく見学者も多い。しかし、屋根の傷みがひどく、修繕が必要では。

問 見学者にとってトイレやバスの折り返しで非常に不便だが。

生涯学習課長 平成12年度に遺跡周辺に史跡公園を整備したが、トイレやバスの回転場所がない状況である。今後の見学者数などを見て整備を検討する。当面は近隣の大滝公園などで対応していく。

止としている。全面改修が必要だ。

町長 トップセールスを今後とも実施していく。消費者は生産者が見える小口の購入を重要視している。女性100人応援団からの情報を大切に、

問 町として、高品質桃を安定的に生産する研究会などを設立してはどうか。

産業振興課長 トップセールスで、



早期修繕が望まれる岩淵遺跡 (高城字岩淵地内)

生涯学習課長 雨漏りや柱の腐食が進んでおり屋根が倒壊する恐れがある。安全確保のため内部の見学を禁

※岩淵遺跡 高城の中山原にある縄文時代中期(4500年前頃)の竪穴式住居跡。全国でも最大級の石組複合炉がある。昭和48年に竪穴式住居を復元した。昭和51年に町の史跡に指定。

Q 自主防災会独自の取り組みに支援を

A 現行制度の中で支援していく

問

平成20年度に設立した自主防災会の意識を高める必要がある。町は自主防災会をどのように捉えているのか。

常により重要なことである。また、災害発生後の避難誘導・救出・救護や給食・給水の実施など地域単位での迅速かつ自主的な防災活動により多くの被災者が救われるものと考えている。

町長

防災の基本は自分で守ること。さらに隣近所で助け合いのできる町内会で自主防災会を組織することが非

問

63ある自主防災会の活動状況を把握しているのか。

各自自主防災会の活動をさらに活発にしたい。ただくよう活動内容の把握に努めていきたい。

課長

現在の備蓄では足りない。東日本大震災の検証を踏まえ今後の地域防災計画の見直しの中で検討していく。

課長

現在の備蓄では足りない。東日本大震災の検証を踏まえ今後の地域防災計画の見直しの中で検討していく。

問

大震災時、地区の防災倉庫に自主防災会が殺到し、備蓄品の取り合いになった事例があったが。

消防はしこ車を体験(義経まつり)



問

大震災の経験から自主防災会

していく。

問

中には、独自に防災用品や防災倉庫を準備しようとしている。このような取り組みに対し支援をすべきと考えらるかどうか。

問

自主防災会の防災意識を高めるには、年一度自主防災会役員を対象とした勉強会をおこなうべきでは。

課長

現在、旧町村単位ご

課長

10月の総合防災訓練

とにある地区自主防災会連絡協議会に補助金を交付している。現行制度の中で自主防災会にも支援できるように

の中で役員を対象とした訓練をする。今後とも機会を見つけ実施するよう検討する。



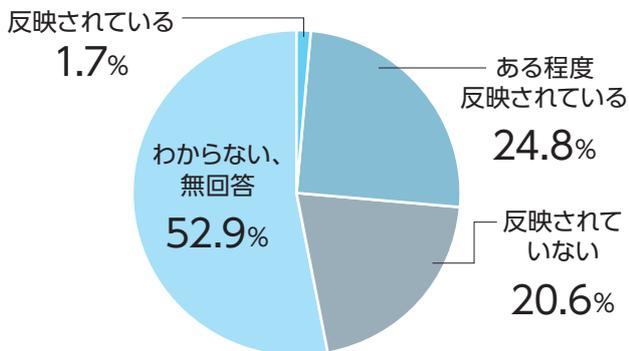
渋谷福重議員



昨年の防災訓練の様子(貝田自主防災会)

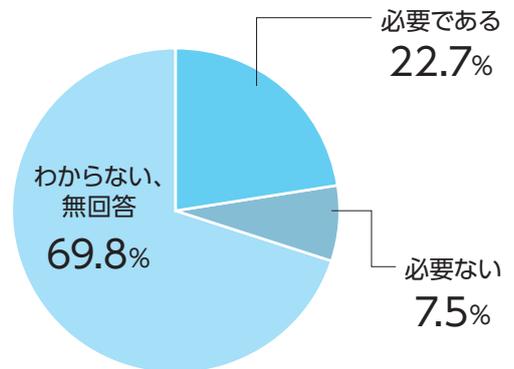
質問 4 町議会に町民の声が反映されていると思いますか。

町民の声はまだ活かされていない



質問 5 町議会の改革が必要だと思いますか。

改革で取り組む課題は多い



【改革を必要とする具体的な内容】

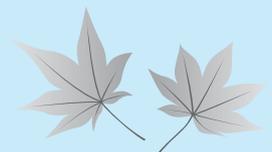
- 定数の削減 (82人)
- 報酬の見直し (日当制) (57人)
- 定年制導入 (50人)
- 議会報告会の開催 (11人)
- 町民との対話を増やす (9人)
- 議員の意識改革 (8人)
- 政策提言機能の強化 (8人)
- 夜間休日等の議会開催 (5人)
- 議員活動の周知 (5人)
- 女性議員の参加 (5人)
- アンケート(住民投票)実施 (5人)
- 議員研修の強化 (4人)
- 議員間討議の実施 (3人)
- 子ども議会の実施 (1人)
- 議会モニター制度の導入 (1人)

【町議会に対する主な意見、要望】 (主なものを抜粋)

- アンケート調査自体がたいへんな進歩かなと思います。(70歳以上・男性)
- 子ども達を「国見の宝」としてのびのびと育てる環境づくりをしてほしいと思います。(20歳代・女性)
- 町民の意見に耳を傾けて、より良い町づくりに取り組んでほしい。(50歳代・男性)
- 事案は各議員が真剣に考え、何が町の為、町民の為になるか議論してほしい。(60歳代・男性)
- インターネット中継などをPRすれば若い人達も関心を持つのでは。(20歳代・女性)
- 議員の世界が狭い、古いと思います。熱意が伝われば町民も応援したいと思います。(30歳代・女性)
- 議員自身が解決策はこうだと言える質疑をして町長や全議員で解決していけばよい。(60歳代・男性)
- 震災や原発事故で、普段よりは議会を身近には感じていますが、普段から意見・要望が言えるつながりが必要だと思いました。(60歳代・女性)
- 私達、町民がもっと町政や議会に関心が持てるように、報告会や説明会が必要。(50歳代・女性)
- 子ども議会を提案します。将来を担う子どもたちが町に愛着心を持つように。(50歳代・男性)
- 小さくてもキラリと光る斬新な運営を捨て身でやる。冒険心に満ちた若いパワーが欲しい。(40歳代・男性)
- 議員は自信をもって報酬以上の仕事をしていると町民に表明できるようにしてほしい。(70歳以上・女性)
- 町の20年後、30年後の施策についてビジョンが何もない。(40歳代・男性)
- 議員がいろいろな場に出向いて、自ら問題点を吸い上げる努力が必要ではないか。(70歳以上・女性)
- 年寄りだけでなく、若者が、気軽に国見の未来を語り合えるような場を設定してはどうでしょう。(40歳代・男性)
- どのような仕事をしているのかわからないし、地震の時、だれ一人として避難所には来てくれませんでした。(60歳代・女性)
- 議会改革特別委員会はどんな目的で設置したのか。何を改革するのか。具体的な改革案を提示すべき。アンケートの結果で改革する、しないではない。(60歳代・男性)
- あいさつも満足に出来ない。こんな人が町の議員かと思うとなさげなくなる。(60歳代・男性)
- 意見や要望は議員より、町内会長にお願いした方が速い。(60歳代・男性)
- もっと町民と会って「どうしたい、変わらないかい」と話しかけてもらいたい。(70歳以上・女性)
- 議会独自での発案が見られない。町職員の言う通りになっている。(70歳以上・男性)
- 早く役場を作り、以前の様に文化センターを利用できる様、議会からも伝えてほしい。(70歳以上・男性)
- 商店街を活性化すべき。もっと国見町を注目されるような町にしてほしい。(40歳代・女性)
- 老後に安心して住める国見町にして下さい。(70歳以上・男性)
- 「安全安心の町づくり」のために、小さな声も反映していただける議会であることを望みます。(20歳代・女性)
- 町民の声を議題に挙げるのはわかるが、時折議員個人の要望なのではという気がする。(30歳代・女性)
- 町に働く所があれば活気が出て来ると思います。特に女性の職場がないと思います。(60歳代・女性)

アンケートの全集計結果は議会ホームページ

(<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>) でお知らせします。



皆様の声を議会改革に反映します。

町議会の改善・向上のため、7月に「議会に関する町民アンケート」をお願いし、1,732件の回答を頂きました。その結果がまとまりましたので報告します。(抜粋)

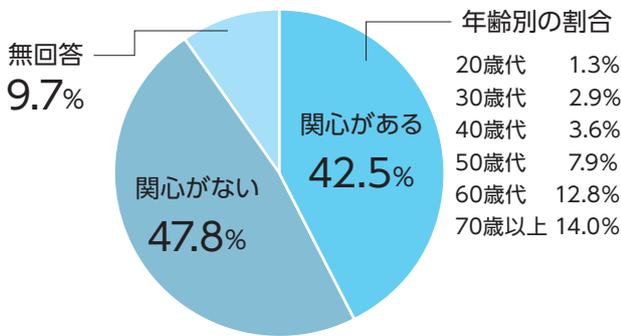
今後は、町民の皆様からいただいた貴重な意見を議会改革に反映させるため、26年3月までに「*議会基本条例」の制定を目指し、十分に議論していきます。

※議会基本条例

議会が住民に対してそのあり方を宣言し、議会の最高規範といえるものです。「地域のことは地域住民が責任を持って決める」という地域主権改革が進み、議会の責任がより重要となる中、住民を含めた活発な議論を促すのが目的です。

質問 1 あなたは議会に関心がありますか。

半数が町の将来や議員の活動に関心あり



【関心がある主な理由】

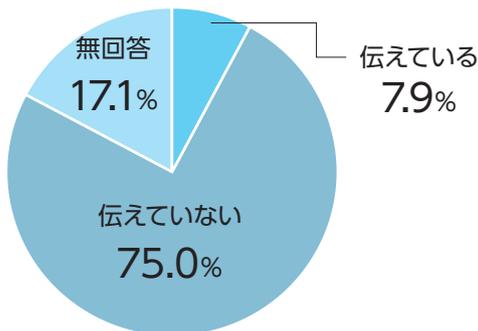
- 町の将来（除染、風評被害払しょくなど）について。
- 議員がどのような活動をしているか。
- 議会が町民の立場で行われているか。

【関心がない主な理由】

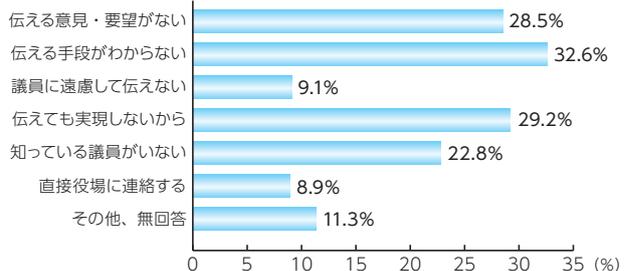
- 身近に感じない。何をしているのかわからない。
- 議員が町の将来の為に一生懸命働いていない。
- 議員が意見を聞かない。魅力を感じない。

質問 2 あなたは町議会議員に自分の意見や要望を伝えていますか。

意見や要望は議員に伝わっていない

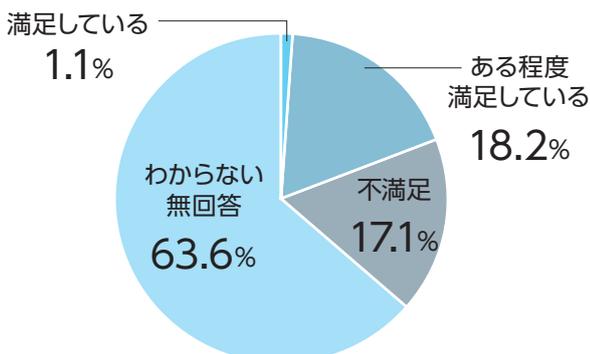


【伝えていない理由】（複数回答）



質問 3 町議会議員の活動に満足していますか。

議員自らが町民と対話し活動を伝える必要がある



【不満足的主要原因】

- 議員の考えや活動内容がわからない。
- 将来のビジョンがない。
- 真剣さが見えない。
- 自ら進んで町民との会話をしない。
- 要望しても返事のみで動かない。
- 町内会長の方が身近で相談できる。
- 震災時の対応が不十分。
- 質問内容がいつも同じ。
- 成果が感じられない。

総務文教常任委員会

廃校活用は地域の熱意と 未来像が不可欠

全国廃校活用セミナーに参加

総務文教常任委員会
所管事務調査

10月17日、北海道夕張郡栗山町で開催された「2013全国廃校活用セミナー in 栗山」に参加し、当町でも議論されている旧小学校校舎の利用を調査しました。

と延べ1500人もの町民が参加し、改修事業そのものが地域づくりの大イベントとして行われていきます。



セミナー会場の雨煙別小学校
コカ・コーラ環境ハウス(北海道栗山町)

この施設があるハサンベツ地区では、2001年から身近な自然を残し、未来の子どもたちの遊び場、体験学習の場とするため「里山づくり20年計画」を地域の人が自ら作り、様々な活動を続けてきました。

セミナーでは、他にも多くの廃校活用事例が紹介され、どれもすばらしいものでしたが「せっかく廃校があるから何かに利用しよう」では結局、維持管理の負担が残るだけです。廃校活用を成功させるには、地域の人が「この地域で自分たちの子や孫に何を残せるか、何を残し

局、維持管理の負担が残るだけです。廃校活用を成功させるには、地域の人が「この地域で自分たちの子や孫に何を残せるか、何を残し

たいか」という未来像を描くことが鍵だと感じました。自然環境や里山の景観、生活文化の伝承を通じて、将来、町を出ても自然と共生する人を育てることや地域のリーダーとなる人を育てることなど明確な考えと目的が必要です。

議会としても、今回の研修で学んだことを今後の議論にいかしていきたいと思

(報告者 松浦常雄)

10月17日、北海道夕張郡栗山町で開催された「2013全国廃校活用セミナー in 栗山」に参加し、当町でも議論されている旧小学校校舎の利用を調査しました。

この施設があるハサンベツ地区では、2001年から身近な自然を残し、未来の子どもたちの遊び場、体験学習の場とするため「里山づくり20年計画」を地域の人が自ら作り、様々な活動を続けてきました。

町民の相談を 意欲的に解決

8月30日、町民相談室の利用状況について事務調査

を行いました。総合窓口では、1日30〜40人の来庁者を案内し、相談室には1か月平均10件程度の相談があり、その半数が解決されています。他にも各種懇談会を開催し、町民の意見を意欲的に取り入れる活動が見られました。

行いました。授業では生徒同士が教え合う様子が見られ、懇談では体育施設が充実している反面、文化関係備品の老朽化が課題であるとの話がありました。



廃校活用セミナーの様子(北海道栗山町)

この取り組みが評価され、町やコカ・コーラ教育環境財団の支援を受けたものです。



来庁者にわかりやすく案内
(総合案内窓口)

授業の様子は良好 備品老朽化の課題も

10月3日、県北中学校の授業参観や校長との懇談を



英語の授業を参観(県北中学校)

産業厚生常任委員会

被災設備の復旧に
迅速な対応を

8月27日、水道施設や下水道の被災状況を現地調査しました。簡易水道統合や老朽化施設の整備、余震による下水道の復旧など迅速な対応が求められます。



国見受水施設を現地調査
(泉田字三ツ谷地内)

各地区での被害に
応じた訓練が必要

9月26日、防災訓練の対応について事務調査を行いました。各地区での被害の

想定に応じた取り組みと、自主防災活動のマニュアルの検討が課題となります。他にごみの不法投棄対策なども調査しました。



確認していますか、防災マップ

一部事務組合報告

24年度決算
認定を可決

福島地方水道用水供給
企業団議会

8月29日に企業団議定会
例会が開催され、企業借入金
の低金利借換を行う25年度
補正予算の審議や24年度
決算認定が行われ、2件とも
可決されました。

平成24年度決算認定

◆収益的収支決算額
収入 37億6257万円
支出 38億313万円

◆資本的収支決算額

収入 35万円
支出 16億8849万円
(収支差引不足分は、過年度分の留保資金などで補いました)

入院収益減も2年
連続の黒字決算

藤田病院組合議会

10月2日に第2回議定会
例会が開催され、24年度決算
認定が可決されました。

平成24年度決算認定

◆収益的収支決算額
収入 57億9470万円
支出 55億7900万円
◆資本的収支決算額
収入 2億2916万円
支出 5億3802万円

(収支差引不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補いました)

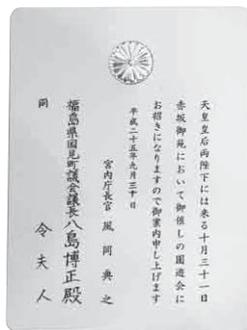
なお、経営赤字を補う特別負担金として、構成する1市2町で1億3000万円、うち国見町で6500万円を負担しています。
(報告者 志村良男)



秋の園遊会に
八島議長が出席

10月31日に東京・赤坂御園で開催される天皇皇后両陛下主催の秋の園遊会に、

八島博正議長が県町村議会の代表として招待されました。当日は国民栄誉賞を受賞した長嶋茂雄さんなど各界の功労者約2000人が招待されています。



9月10日 ~19日	9月議会定例会開会
9月14日	町敬老会
9月15日	小坂大運動会
9月20日	役場庁舎安全祈願祭
9月22日	市町村対抗野球大会応援(福島市)
9月23日	義経まつり
9月26日	産業厚生常任委員会
9月28日	くにみ幼稚園運動会
10月1日	教育委員辞令交付式
10月2日	公立藤田病院組合議会定例会
10月3日	総務文教常任委員会
10月15日	3.11大震災復興対策特別委員会
10月15日	県北浄化センター汚泥処理に係る説明会
10月17日 ~18日	総務文教常任委員会行政調査、大震災支援表敬訪問 (北海道栗山町)
10月19日	県北中学校柏葉祭
10月20日	国見小学校学習発表会
10月22日	議員懇談会 議会改革特別委員会
10月28日	産業厚生常任委員会
10月29日	町村議会議員研修(郡山市)
10月31日	伊達地方消防組合議会定例会(伊達市) 伊達地方衛生処理組合議会定例会(伊達市)

時代の流れを見極め、先を見た政策を

私は町民になって9年ほどになります。東日本大震災と原発事故からの復興は先が見えず、町長をはじめ、議員、町職員の皆さんも大変だと思いますが、町の発展を願い、ひと言書かせていただきます。

ようやく役場庁舎も工事が始まり、道の駅を中心とした交流の場という明るい話題があります。一方、人口減少や藤田病院の医師不足問題などマイナス要因もあり、これからも町民と問題を共有しながら解決に努力していただきたいと思えます。



松村 彦衛
(大木戸町内会)

第5次振興計画や阿津賀志山整備構想など方向性が出ているものもありますので、時代の流れを見極めながら優先順位を付け、時代の先を見た政策が必要だと思います。

国見町は東北の玄関口であり、交通の要所です。車の交通とともに人の交流をもっと活発にし、県外の方々も来ていただけるようになれば町の発展にもつながります。そして町外に情報をできるだけ多く発信することが今の情報化時代では求められます。

今の日本は人口構成や経済が大きな転換期にありますので、町長と議員が町民の先頭になり、言葉よりも行動で先導してほしいものです。

過去に安住することなく、議場の質問だけでなく、決断と行動で自己確認されることを期待します。

強まる絆—支援に感謝

北海道栗山町を表敬訪問

10月18日、八島議長と総務文教常任委員が北海道栗山町を表敬訪問しました。

栗山町は23年5月から4週間にわたり保健師を国見町に派遣し、大震災の支援活動として被災者の訪問健

康相談などを行いました。

八島議長が栗山町の椿原紀昭町長と鶴川和彦議長に支援の御礼と国見町の復興状況などを説明し、交流を深めました。



震災支援の表敬訪問で北海道栗山町の皆さんと(右から1人目が鶴川議長、5人目が椿原町長)

議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は
12月10日
開催予定です。

手続きは、受付簿に住所・氏名等を記入するだけで気軽に傍聴できます。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせください。
TEL 585-3295 (直通)

残暑の中、9月議会が始まりましたが、今では、紅葉が進み、秋も深まってきました。

9月議会では、平成24年度の一般会計の決算認定や役場新庁舎建設工事など多くの重要な議案が慎重審議によりすべて原案のとおり可決、承認、認定されました。

お忙しい中、一般質問の傍聴に来ていただいた方々には心から御礼を申し上げます。

町では、小学校、幼稚園をそれぞれ統合し、教育の充実をより図るため、新しく「国見の教育ビジョン」の策定を進めています。議会でも策定委員会の報告を確認し、また、常任委員会で中学校を訪問するなど教育の施設設備や授業の状況の把握に努めています。

今後も、教育環境や授業の充実などが図られるよう議会としても取り組めます。

(T・M)

- | | |
|--------|--------|
| 議長 | 八島 博正 |
| 副議長 | 志村 良男 |
| 編集委員長 | 浅野 富男 |
| 編集副委員長 | 松浦 常雄 |
| 編集委員 | 東海林 一樹 |
| 同 | 佐藤 定男 |